

平成 30 年度

第 6 回「医療通訳養成研修」の詳細

青森県立保健大学 川内規会

○研修の背景と目的

過去の「医療通訳養成研修」では、医療通訳に必要な「Ⅰ．知識 Ⅱ．技術 Ⅲ．倫理」のそれぞれの基本的概念を知ってもらうことを目的とし、県内の医療現場で活躍できるよう、医療通訳者を養成する研修を企画し実施してきました。昨年度 5 年目を迎え、過去の医療通訳養成研修参加者をはじめとし医療者や通訳者を対象にステップアップしたものを開催したいと考え、活躍中の中国語の医療通訳者の方を講師に招き、実際の医療通訳の経験談を伺いながら技術演習を実施しました。

今年度も、昨年度同様にステップアップしたものを企画することとし、横浜市で活躍中の英語の医療通訳者を講師に迎え、経験談や実践を組み込んで構成しました。また、今年度は、県内で公衆衛生・地域医療に従事する医師も講師として迎え、医療者の立場からお話をしてもらえるように企画しています。県内の通訳の現状と課題を共有し、専門性のある知識と技術が得られることを目指して本研修を開催致します。

○研修対象

対象者：過去の研修参加者、県内のボランティア通訳者、医療現場で通訳を経験したことのある方、
医療従事者、医療通訳に興味のある方

募集定員：30 名程度（国籍は問いません）

○研修プログラム

日時：2018 年 11 月 10 日（土）、11 日（日）の 2 日間の連続研修

10:00～16:30（12:00～13:00 昼食休憩）

場所：青森県立保健大学 A 棟 1 階 107 教室（正面向かって左側の棟）

【1 日目】

10:00～10:30 講義（川内）：日本の医療通訳の概要

10:30～12:00 講義（矢野）：地域共生社会における在日外国人の健康支援と医療通訳への期待

12:00～13:00 昼食（休憩）

13:00～16:30 講義・実技（アビー）：通訳技術Ⅰ（基本・ノートテイキングなど）

【2 日目】

10:00～10:30 講義（川内）：医療通訳倫理と通訳の心構え

10:30～12:00 実技（アビー）：通訳技術Ⅱ（実践）

12:00～13:00 昼食（休憩）

13:00～15:30 実技（アビー）：通訳技術Ⅲ（模擬通訳・ロールプレイ）

15:30～16:30 グループワーク（川内）：総まとめ・学習を継続するために

講師：アビー・ニコラス・フリー（MIC かながわ医療通訳者）

矢野亮佑（青森県三戸地方保健所保健医長）

川内規会（青森県立保健大学准教授）

使用言語：講義、説明等は日本語で行い、実技は英語で行う予定です。

○その他

1. お昼をはさむので、昼食をご持参ください。（近くにコンビニはあります。）
2. 駐車場はご利用できます。
3. 参加費は無料です。

《昨年度の研修風景》

